

P2.33

1 of 2

67/14

c

A Japanese translation of the minutes of
Relocation Planning Commission meeting
Nov 24, 1943.

千九百四十三年十一月廿四日、居住設計委員
会、午前一時四十分第二十二回開會に於て。

議長七ノハ氏開會を宣う。出席者、村松三
ノリ。河原三ノリ。久ノハ。アノハ。ハノハ。三ノハ。
アノハ。三ノハ。伊藤三ノハ。近田三ノハ。
中村三ノハ。セノハ。野村。石井三ノハ。井川三ノハ。
柳田三ノハ。金谷三ノハ。エノハ。三ノハ。アノハ。セ
ノハ。三ノハ。三ノハ。三ノハ。三ノハ。三ノハ。
議事録讀了、修正を承認。委員を重要なる
報告之れを以て、議長、居住事務部の改組
に就きて念及に報告。居住設計部の組織に
関するの点々より意見を述べた。之を
決議す。

既に組織部の居住諮問会に、今般、居住設計
委員会の改組に決定。

其の一日も改組、事務理事の選定を行
ふに決定。

十月二十六日付居住官長の書面を讀み、之を
之を決議。又、改組の試みを提案し、若
し改組するば、居住遊説委員を各收容
所を巡回し、又日本語に堪能なる人
を遊説委員に充て、之を有利なるものとする。居住運動
会議を催するもの。此に於て、委員の決議

Sheet 2.

あり。今議：既に提案せられ居るやうに催まし
もの勸告もあり、又別に今議：討論会の型にて
收容所由に用ゐるもの勸告もあり。

今討議に移きて、諸種の出所許可の形相及び
目的等について討議あり。即ち短期、期間、
無期限出所の三あり。

第一式。期間出所の七ヶ月を超え可らず、又
一郡由に限る。但し延長を乞ふことも得。

中村氏。一月一日以後、期間出所に一切禁止
せらるべく、而して既に期間出所中のもの、無
期限出所に變更せらるべし。故に出所に於て無
期限多くなり、然るは出所せざる者となりしを
凡説近頃弘く、四十二元、四十四元等と
及び店あり。各延長せしむ。其無根を以て
披露せしむべき。

第二式。その長は提案あり。一は出所
の縁を切るより、帰還し得ざるやと思ひ、
多人数を心配し居る。佛一居住に價値あ
るものなること、多人数の承認する所にも、吾人
の記録によらば、九割七五に收まり、但し三歩の
み帰還せり。を始めて時、更に少くも半分の
帰還するものと思ひ、一に、國もよくその然りたる
ことを知るに五歩。

村松氏。期間出所に於ては、近頃進行を待つ
也。其金も亦如何。

Sheet 4

却て之を知らぬもの意見一致に決す。
河合氏の。各収容所に、戦後六ヶ月我之
を継続せしむる。後、戦俘計画あり。
ビーラ氏。然し、余が知る範囲に、収容
は、戦後六ヶ月間存在する了解ありし
信ず。戦俘計画に同意する。
ビーラ氏。同様に吾人、本会の必要と認む事
柄に同意を提せしむ。又、ビーラの事務所に
之を送る。前々たるに之を、審判官、諸提議
を具体化し、之を討議し、而してビーラ氏に之
を申告せしむ。ビーラ氏に、優に其面
を以て、或る事柄に同意し、居住者諸氏の之に
對する反應を照会し来るに、提せしむ
行はふことを望み居る。

皆、好まざる所を有し難く謝す。本会
進歩に、出席者も増加し、会務も向
上し得しことを希ふ。如何なる提議にても
之を公致す。会議の席上にて之を述べ
望み此方、之を認めしむ。今日の世を
謝す。

閉会。

次會は十二月八日午後一時開き、第二十
二回集會場にて開く。

sheet 2.

ニハシム氏。議長君に答へ。先づ手続として略
々その綱要を述べん。お訴申す通り、却て其時収
入不足に對し。又收容はるる居住先を行は
し居る。諸君が既に政府費用にて高給に取寄
せしむる財産を、居住の場合に持ち行くとせしそ
の量五百斤までは、政府の費用にて運送せらる。
家族が居住の場合にも、その調度品五百斤まで、
又收容はるる居住先まで政府費用にて送らる。其
の上に、政府に要求せしむる退去地へ出る（運送
はる）財産がある場合には、是れ亦政府費用にて運
ばる。撤退地の私有並に官有倉庫にある調度品
も亦同じく政府費用にて居住先まで送らる。此
特典、其の費用亦に適用せらる。但し衣服、
家具等の部類に属するものみは、燭、冷蔵庫、書
庫、手道具は宜し。收容はるる居住先へ送らる
る物も、居住先へ倉庫に移され、諸君は、その
造に手荷を受け、又箱及び梱用の材料、紙、
紙、紙等。又撤退地の官有及び私有倉庫に在
る財産を輸送する場合に、政府その費も負擔
するのみならず、その箱、梱も亦政府の費用に
之を算入す。

普通の輸送機関に、科金所納以外に、其の
を特別科金の部類に属する調度品を取扱
ふことは禁じられ居る。

記者、又出資前に、書面百五十六号を作製
し、收容所迄財産を輸送を要求せざる可
ら。輸送を要求し、記者が本に決定し、之に
付着する物も送る事なく、留め置かる。但
如何なる場合にも、輸送を要求し、記者が收容所
出資所に之を行ふ。撤退地の所有又、所有食
庫からの輸送を要求し、記者の所迄何れにても宜し。
前記調度品以外、物、即ち車、用機、店用及
び食店用家具、その他同姓家、財産に、要求に
する、此等は、又輸送の準備を援くも、又
運送を支拂ふことを許されず。

ロビン氏。若し自家の家に、一旅舎を所有し
居る、その旅舎の家具を輸送し、其の
ものを歸す。在東京に自分の新宅を歸るに用ゐ
る。

リットン氏。その家具に、長く新宅を歸るに用ゐ
られ、商業用に用ゐるもの、之に、可能なり。

ロビン氏。自動車は、何れに歸す。

リットン氏。自動車に、運転手を得る周旋をな
す。又、燃料を歸る所まで運ぶ。之に、華州
のバスを乗行し、之に、又、ボートに、又、オ
クリス、乗行し、周旋をなす。又、之に、又、オ
クリス、乗行し、歸す。

村松氏。教団に財産を残す、多敷なり。そ

Sheet 4

此が總て混亂せられざるに利便なりと。

リッパに氏。事務所にて多量あり。併し何れも遺
り置かれし遺物なり。何れにも、其事務所に財を
とるより、其が安全なるに利便なる場合に、
政府倉庫に之を移すより手続が甚だ可
なり。

青川師。何れ其事務所にありとあり。

リッパに氏。有り。財を何れも其許に残り
て、其事務所内より、其が事務所に運ばれたる時
紛失物ありし事件多し之なり。

リッパに氏。長下の事務所にて何れに在
る。

リッパに氏。第二十三号、第五棟なり。お尋ね
の事あり、其處にて申上。

所有物件を何れに取寄せられた、方、金か事務所
に搬入の上、物件を官有倉庫に移すべし、申上
書を作製せられた。然るに、箱詰、梱作、之
の他見て必要なる事を施し、而して所有者に無料
にて之を受取る也。所有物件について、不安を感
じ居る方、之を官有倉庫に移さうと決心
なすべし。其の物件を、出さる限り取れし
之を梱詰めし、而して官有倉庫に移す。時
進みにつれ、諸君の旧宅又、友人の許に残る
物件の紛失事件が、續々増加す。

Sheet 5

荒井夫へ。荷住者の調度品を田所へ送り出す。荷住者出発と同時に、又信へ送る。

リッパイル氏。出発一週間前に発送一世帯に送る。得。それに申す。如何による。

リッパイル氏。出発後、時間の限りある。

リッパイル氏。理論上、限度を有せざる、倉庫の容積不十分のため、甚しく長期に於て保有する。

上記の約束「新」は、係「及」限り「保有」する。送り先とは申す場合、甚しく、送り先不確定にて、何日の発送と事務所には申す場合、正確なる送り先が通知を受け、物件を発送する。

荒井夫へ。梱作、必要な物、出発前何程前に、その住宅に積み出す。

リッパイル氏。其の重さに距離次第なり。人は目的地に到着する際、物を手にもする。

藤平嬢。収容所出発前何程前に知らせる。

リッパイル氏。それ、箱詰、梱作など必要な物の量次第なり。多量に正確に出発期を知らざる故、敷格、窮乏なる制に及ぶ。不可能なり。出来得れば五六日昔より。

源氏。旧住地の私有倉庫に在る物件、何れかを先送る。

リッパイル氏。WRAが箱詰に梱作して発送する。

Sheet 7

制する之を敢てせたり。在に佛敎の書物にて、或る佛偈の之を所指するに善女はなにより人の心を救ふべしなり。彼の修業も終はんとせむとて、この書物も得たり。

二つに成。其能く物に成る、余は多し、知
るも、目下手続中と信ず。

荒井夫人。撤退前に取上げられた刀劍軍刀な
どを、討有主に返附せうとせよ。成程そのもの
内に、家宝もあり、討有主に返付には有價物なり。

21. 22. 23. 24.

ビ一王氏。他諸位は即ち其の事蹟共一と
存ず。松田師と云ふ如し。

電信上の各方面のことは既に新案の電信設計委員
 会の件にふり可なり討議を行つたといふ。会中多
 数の意見所なるが、この会會は、我が国の電
 信利用を具体化すべき。その代表者も主
 一に氏に、この上りもの新考案について、私には説
 明あり。その考案を組立てて、相対討議を
 要するものと自分には思はる。その考案は、事務
 と三区域に分ち、即ち主管部員、撤退者部員、
 撤退者白人合同部員なり。少數の主管者にて、
 参事會と電信設計委員會とが一部員となり、又
 行政廳員と一部員と、それ以外を電信合同及
 警察局を設け、電信官之に長たり。その實り余なり。

Sheet 8

寺川師。本会員、總て如何なる人なる。

ローレン氏。特任設計委員、總て撤退者多し。

寺川師。各五、六代表者を出すことも可能なる。

ローレン氏。否、特任設計委員、婦長組合、教員、男女基督教青年会、其他の団体、多し、且下、各会が有る如く、代表者にて組織する。

無二。只今の請考案下、特任設計に三、五年の間、或は更に多し、其の間に全員が全同承認する事が望まれている。

金谷氏。余、この點に、休止、無計畫に對する居住者の反應如何を見ることにせしむ。早く実行がなされ、無計畫が居住者に承認されることを望む。全個人として、今、これを一年改定、其事が一層改善されることを望む。

ローレン氏。他に何か意見ある。

石井氏。余も同意見なり。年改定を待つ。

新組織特任の實際の計画、新年に決まると共に一致す。

ローレン氏。本会員数如何。

石井氏。四十名なり。

河原氏。本会々員中、何特任也。

石井氏。九人なり。

金谷氏。学生居住の問題について。学校に行くと

sheet 9

たうく、無期限出知許にも書さる。

リー氏。然り。然れども門校に入らる。

近田氏。学校を卒業し、郡級と望む場合に、再入
知りたなるや。その父母が知れ内に住み所、卒業
を直ちに働は之れなる場合に。

リー氏。然り、併し修業のため出知若し、却て
帰知せざる方にふしと候す。その子も門校に
入り、卒業知に歸りて父母と共に住み所に行て
い、是れ何の爲めに候せや。

無期限出知は本所を以て、約二百三十人。先
日ギボン氏来知折記録を複製せ、約四百。
五人、帰知、その中の十四人は、入知や無期限
出知と許す。之に依り、過半数の人は、所外に
あるに好むなり。

特使遊説團が口上報告を訪問件に同ち十一
月二十日附アールド氏の報告をリー氏讀上げし
が、第一頁第二頁に記す。

年々年々には多化せんとせり、此等一月
五日に開くこと決る。

閉会。

A Japanese translation of the minutes of Relocation
Planning Commission meeting for Jan. 19, 1944.

議長は、この用命を宣す。

出席者。松田 ~~修~~。原誠一。木村博。近田タカシ。
志村宣夫。河合つる。坂本ロー。金谷タツ。
高橋修造。千田タツ。大川一。石井慶壽。佐
田也一。荒井目次夫。

前会の議定書を讀み承記。

十八日、ホカチロ移住を啓宣して現地の諸
韓旋に任じ、タツ一氏を議長、金谷に紹介。
タツ一氏。タツ一は日本人と籍に至るが、同地に
日本人と共に登壇せん。タツ一は通学者の因
割、日系人の子女なり。余は日本人に偏見は
ない。余は十八日、同地の移住にあり、その
現地には二世の男女青年のみ、一世は殆どな
く、余は住居を甚だしが、同地には一世家族の
居住 ^の あり、生活もよく調整され、且つ
多事好都合に進展し居る。この百二十五哩
距れるホカチロ地域には、日本人の家族は二十にもあ
る、此等、既住十二年以上二十年以上に居住す。
戦争、亦、彼等に影響せらる。西海岸から来
る人々に同情し又慰勞を有る、その移住を奨励
して合宿所を設け居る。同地の状態は甚だ友好
的なるが、且つ余は一世を誘ふところ一つなり。若
し見女、本家の生活もよくある。彼等、本家の学

sheet 2

校に通ふ、本町の家庭に歸り、合衆國民の生活を送
りて居る、此を見女に於ての本格な生活に足
る點に於て、學ばせらる也。両親が五十五歳乃至六
十歳代の多くの家産が所外に出て、再び妻と娘との
困難な、金に乏しく所なる、見女に普通の生活
となす、此の世を考ふる時に、娘にも亦優遇ある
なり。金に金に乏しく、西海岸と近北に居る
儘、米國人の日本人に對する感傷に富み、
現地妻務官として旅行中、金に乏しく、
とて、町内に僅に一軒の日本人の家族を訪ひ
、彼等に實に都合な生活として、その間、
其の成文に當り、他に同胞の所を
に關心せらるなり。

後、明日帰る時、(西海岸の言葉)住む
べきところを告ぐる。假に今日難所、難境、
とて、又、ボートで歸る時、住む所の使用
を此處、町内、凡そ状態、変化せり。その考ふる
中に有る、收容所に止る誤り。状態変化のため、
收容所に留まることも、外に、平穩の生活を送
る可なり。之を實行せ、それ大に進歩せらる。
安閑と收容所に止り、子女も其の同食料、食
事をせしめ、不自然の状態の下に登校せしむ、
子女の生活に及するものにして、かく、彼等に白人
及、その子女との接觸、絶ゆるなり。今や第二章

に於て、平素の生活に復帰するに於て、一層戦
化一層困難なり。

二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、

故本氏。本書の青年と、
相違の点を見れば、
相違の点を見れば、

三、四、氏。この日語青年と、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、

志望者。現地事務官に
たがひ、契約に
が長期の如く
女子の一人が
が、
たがひ、契約に

三、四、氏。この日語青年と、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、
一、二、三、氏。諸君の如く、若く日本語に於て、

時、仕方の申上、直接に
故官が之を取
故官が之を取

Sheet 7

は、二つ又三つ目の懸念がある。増え、不
決定。

河原つる氏：群衆の多分の会合を避けるために、
駒形遊説場と中野公園会館を提案する。

三ツ氏退場を決定した。石井氏会を司る。

石井氏：将学委員の報告を受ける。

石井氏：将学委員の件には報告を受ける。いかに
と存ず。この会館を一月十日に東京にて委員会

あり。その不自由な客年十月に東京調中なり。華

州とらん市西部縣路の本人会所等の意見状

学委員会に送り。その会に、田井新に本人会

委員三氏に送り。三氏の要求により抄写せ

られ、五人に提出将学委員会に詳細を氏に送付なり。

委員会、中野公園に送り。正確の事、不明なり。

委員、東京駒形設計委員会にて、本将学委員会

の件を報告する。これ、事件に委員会に回付

する。提案する。

坂本氏。その会に中野公園に送り。これに用いる。

石井氏。三氏の言により、中野公園に用いる。

また、解橋を政府に送り。これに用いる。

次に、三氏委員会より三氏の意見を各王代、各

王代表に一通して配布する。その一部は、一月十日

午後には配布する。又行の五十分より、必要

に直下して配布する。これに用いる。

Sheet 2.

「その方はよく、又私共、個人及び家族両方から援助申し上げたを以て、又地位に關する諸問題も承知した。」

三に、目下地位計画中の方、及び將來地位を企つる方の便宜を計り申すに付、訪問中も事得文の二に致し、お望みならず、總ての場合に對する應答に成して居らず、又當方の方々の「反感」の事柄も承知致すが、就ては、後述も承知せ申す。同時に、研究がたゞに終へる。」

之に「博士と金と、ハト出た國にも甚だ感戴せず、矢張り本會と同等なるものは會見せし。又私共、居住者中より選拔せしものも面會すが、尙ほハト同様と云ふ。毎の午に、D. W. 氏が用意せられし居住事務所にて、必由各位は提出の同意を蒙る。ハトに付、種々の問題につき、會談せし。我議はハトも、他の時間割の都合に中止の止むなき時に、更に翌日會見を續けて、多大の研究をせし。尙ほに選出中の、又一層知識を得な望なり。私共の金銭に對し、尙ほ秘密事件及び批評の件あり、何卒お許しされたく、又地位の務と云ふは提案ありに承る。」

各方の會合に同時に申す、たゞおぼやう。即ち撤退者中の一人が、司會者たる通例、之に「博士ハトは海軍、それと映画と云ふ、始にハト

Shuck J.

此王女は、少男少女がエーブと云ふ解きに至り、事柄は、第一層
大切なものなり。夏期に當り、エーブが彼世と卒西
アキアプに赴きし時、彼等、エーブと他のものゝ間に
何事にも争ひなきを見出せり。此の若者王の態度は、
中西部及び東部に住む人々の一般の態度に甚だ
類似せり。

同例あり。同の(二世の)女が六人の他の婦女
 子と儼然一婦が、在二世女子に全く獨りにて儼然、何
 れ一婦のみならず、多少の離れ有けり。給
 田は、その世の一人が、一婦と同時に便所
 に行き、その一婦に突然、女に、何故来り、と
 (お歸りになられた)と尋ねたり。二世に之に答へ、
 予は、一婦、加州(歸)候に、歸りたり。と云ふ。
 一婦に、は二世が米國北に、一度も本に歸
 りたり、何れ米國北に、何れも始り、終り
 一婦に、は。と云ふ。是後、二世は、三度、
 米國北に、歸り、他、儼然、一婦に
 語り、始り。二世は、一婦、其、正場を、
 他、婦、三、回、一、鐵、を、賜ふ。是れ、一、
 後、米國北に、歸り、何れ、米國北に、
 一婦。

金谷氏。少工六博、其如の撤退者、将来に南
部より考査を以てし、所詮はあり。あつて、日本
人に強て、知北屋をわう存ず。私共考へて、南

Sheet 3

ル。ローマ氏：其意若きに頷くとか。

又其意を行はる前に、其場物を配布する、感
謝状を、ローマ氏に一紙する。

井三郎。石井氏、各家族に書入し、其年
年其に送る。書式、何程進み。す。

石井氏。既に済みなり。言按教師ローマ嬢が、之に
就て援助せり。同嬢、收穫期の日中に、十五
乃至十五度受持たり。

金谷氏。此、其風説なども知られ、スミエ
士の部の中、其土の風説も同一。其語に、其土
は其收穫、其銀のことも云ふなり。即ち其銀
を其土に、同土に其用がらるなり。

石井氏。金、何事も其意を、併しローマ氏
に其謝状申す。

因念。

a Japanese translation of the minutes of Reloca-
tion Planning Commission meeting for March
15, 1944.

臨時議長石井氏同会を宣す。

出席者。渡辺、三ツ、福山、代理、山田、計、藤井
義人、佐田、セームス、石井慶章、青川、師、金谷
テツ、ハリー、アール、選手。

前会議々事録配布。

石井氏。前会議々事録に形掛る前に、居住者評議
会議長藤井氏を歓迎申す。居住者評議会
の設置以来、居住設計委員会、今度、今回が
始まる。居住者評議会が居住設計にお推し
下ろし、必須のこととして、今日までに撤退者が
若干名参加して作らねばならぬ。評議会
が所望する、その方々に、この両団体の同
任を希望する。居住設計委員会、
居住事務官、ジーン氏も、そのことな
るが、同氏、何時にも評議会と相談の便を計
る。今回、新評議会議長藤井氏、ここに歓迎申
す、実に歓迎、又希望となる所なり。

藤井氏。議長並に居住設計委員会、貴諸君。
今日、この数語のみ申し上げた。は、答へ、お答
え、お用意、致さる、但し申し上げた、こ
うに出席する、又居住設計委員会、現委員
諸君が、斯う、責任を押しつけ、おる、其、其、

Sheet 2.

愉快に宿る。大体の上で撤退者のために、大層素晴らしい仕事となつた。本許居住者の為の居住方法、撤退者全体に取って、甚だ重大なる未来の同是なると金に存ず。此の重大なる企てを完成する唯一の方法は、居住者個々の充分なる解を得るに在り。此に、貴団体の機能を指導する下に充分なる解を得るに在り。不図、本許居住者たち、又其の将来のため、多大なる仕事に任じ、又その金も金もなかり、重なる責任のありと充分確信す。余は、居住者評議会、代表者なるもの、其の能限りに、如何なる世田にも盡くして相動かす。失礼申す。

前會議、議事録讀了を承認。石井氏曰く、
本委員会、去年八月創設以来、上之氏がその
議長たりし、新條例下にて、委員中より議長
長を選舉せしむべきなり、之を行はんと欲し、余は
今日七名を推薦委員と指名、此諸氏に、議
長候補者一人、実行委員三人の候補者推薦
を乞はんとす。但し本委員会、議長一人、実行委
員一人を以て、實際に議長一人、実行委員
二人を選舉せしむ。右七名を推薦委員と多數
の決意なき、先に爾等氏名を録せしむる速

sheet 3.

記者にお知らせ申す。余、一王域を一人と数計せり。七王域ある故に七人なり。

第一王域	渡辺フナツラ氏
第二王域	野がせムス氏
第三王域	尾沢フナツラ氏
第四王域	荒井ミネ夫
第五王域	副田正ス氏
第六王域	中島勝治氏
第七王域	中村タエラ氏

余、以上七名を推薦委員として指名申す。
ある由、渡辺氏又、本、出列席をとり、その他、皆
欠席にて、候補者推薦に於て新し。如何なる
ものと考へ下されや。

余、右推薦委員には通知を發し、次週の水曜
日即ち三月二十二日に、二十二又の三の十一にて委
員会を開くことに決せり。

石井氏、本委員会新委員に、消費組合代
表榎手ハリー氏を紹介。

閉会。

次会、三月二十五日に本所にて開かる。

a Japanese translation of the minutes for
the meeting of Relocation Planning Commis-
sion for July 13, 1944.

移住設計委員会を議。十九百四十四年七月十三日午後
一時半より移住図書館に於て。

議長金谷氏開会。出席者、常会修治。寺川師。
中田貢。金谷テツ。佐田セー。セー。セー。セー。
中村タム。原 謙一。旗手ハリー。荒井ヨネ。
石井慶三。

金谷氏。四月月の会議を以て、故、今日討議に附
ちて、考案を之に於て、移住の模様を承らぬに
なるが、ピーマン氏、最近兩三ヶ月の移住に關して、
手短にお話下さいまし。

ピーマン氏、私は、本所内の全居住者と會見し、報
道を集むる事件を扱はる、最初の一回りは済み
なり。之に應ぜし人の数も著しく、又各正長の援助
も謝意のものありき。五、六の二ヶ月と七月の第一週
間の大部分、之に用ゐる、全居住者の大割は、
會見に應ぜし見當なり。之に於て、居住者の大部
分、その將來の事情を討議せしむる意思ありと
明かなり。今回の會見、は手始め一回りに過ぎ
ず、電氣の件に關して、私は、繼續して致し、
なる決定的な仕方あり。家族中には、望みし
きは、見當り次第出立を希望すると言明するもの
多数あり、之を定意するにも、私の管理事務
中の第一の責任なり。又他の家族中には、或

Sheet 3.

決する。これを指導する地位に於ては、常に自由の人々
と外界の事情に通曉せしむるべきからざるが、是
れ自由の人々皆らから居住地に格別な意見がある
を以てする。自由には、自由と云ふ人々と論議するが
如く、近隣の人は又その他民衆の人々、均しく意見を
を以て報告を提出する必要がある。

金谷氏。吾々、一般居住者の參與を以て、何れも
を能はざる故、居住設計委員会、市政評議会
に属す。

佐田氏。市政評議会下に、健康と食物とを
以て二種の委員あり。凡そ五人の如く、
を居住事務、其は重要なるものなるが、且に衛生
の如くなるものなるが。併し居住と接觸を持つ上
より、評議会、真相を集むるに於て、大層好
位置にあり。是れ居住設計委員会がこれなり
の因に、評議会に属する一分課なるものなる
理由なり。是れ居住事務、多くの人に好かれ、
なる部分の人々之を推すも故、是れ他の分課
より異なり、故を以て、居住者より一會之に想
を以てし、又行政部より一層の參與を以て、
之を評議会下の一分課なること宜しとす。
又本会の委員若干名に移され、改訂案を以
て之を導はるべきと信ず。是れ居住事務は、
評議会事務の一部なる故、之に全責任が有る

Sheet 4.

七、居住者、疑念を懐かざりし。勿論吾等は昨年
六月二十六日、スナードモード式にて建てたものは
も、其當時、此等諸君の疑念の設想を
満足、市政評議会におやりた。其時に此に足宜
しから。勿論今も、居住計画、評議会も
進行を止め、その寧ろ困難を増加する
也。吾等が居住事業を甚しく片は増進する
理由、念及が念に及ぶ。又居住を語るに、其の
二因一である、本会が、更に進行限り、此
等念に附するものなり。

して、この本部は、本市政評議會下に創
 設する。是れ同會の信託者、代表者たる也。同
 會設置の時、會の信託者の要求に應じ、其時
 所を以て、又會の執務の擔持を語
 り、其の信託者も、同會に對し、公的の職
 能を以て、之に應じ、委員會の代表者
 たる者、密接を以て、其の信託者も承
 認する。其の時、委員會は、公的に
 評議會の地位を以て、其の代表者
 移動する。同信託者たる一組の氏名
 を即時に削ぎ、之を他のものに代る。如何
 のに。余等、本委員會を斯く扱ふに
 其の必要あり、即時に金本を改選する。會
 に過重の信託、委員に之を以て、其の評議會

Sheet 5.

の指を待つみに致す。予は余が力に在りし時、共同に轉任に據るべく論ありしが之に對して、予は其とすも亦みも轉任事務の目的たるに非ざると、留るものに對して計畫を爲ることも亦矢張り轉任設計の一問題なり。轉任と將來の計畫を言ふ事。或は家族に自由を與ふ事上のことし、或は家族に出資を宜とす。如兩者に對して吾人に責任あり。是れ余の信念にて、本委員會が評議會に附屬すべきに宜しき也。然るにばと、人々皆轉任を賛するに非ず、やゝとして轉任といふ何なるものかと疑ふに在り。自由居住者中には轉任に賛成のものも多し、本委員會が評議會と分離し、明らに委員會の中核として居住者あり。

佐田氏。分離は國體に反する目的なり、又疑惑を生ぜしむ。

ビーン氏。評議會、是れ同じに關係あるもの故、轉任問題も亦他の問題同様之を議す必要あり。轉任に對する賛否は別所に非ず。

佐田氏。本委員會を評議會下に置くに反對する人々意見を如何。

ビーン氏。なほ多數の反對ありしを以て。余が希望するは、共同委員を任命せしむ。轉任委員會を解体し宜しき、之に對する所は吾等若

Sheet 6.

を要す。特に重要なる事務故、余自身にても
今更の如く団体と要す。

金谷氏。特任設計委員会が正しく評議会の下に
置ける場合に、その会中より委員を任命せし
むる評議会と爲す。

ピーター氏。其の可。

金谷氏。王委員中より全委員より六名を選出
せしむる彼等と爲す所なり。

佐古田氏。本委員会を解散して之を改定するに
とし、新委員会を組織せしむる評議会に依
りて勸諭をせすに如何。旧委員会の遺物は何
も残らなくなふやうにして、その名称も特任設
計委員会と爲す。將來の設計と云ふも
なやうのものに爲す。しかし、その同じと取扱ふ上
に於て、彼等と云ふ客易なり。

金谷氏。本委員会、現状を待たず、又新委
員会と爲す。

ピーター氏。本委員会の主眼なる點を果せしが、新し
きものに、本委員会の下に置きやうのことにせむ。

評議会が別委員会と爲すに、御異見な
しと云ふが、之に同じ諸君の御所存、亦申し
出さるべし。特任計画委員会の解散につ
て、余、御通告を頂く必要あり。

旗手氏。現在、組織の下に、評議会、その会

Sheet 7.

員中より委員を選ばざる可らず。即ち²正しく居住者代表者たる評議員並に五委員なり。若し居住計画委員につかへば、他の方では之なり。

原氏。本会解散が宜し。余の意見は龍平氏のものと同一。評議会を経れば、居住者と接し更に容易なり。

金谷氏。若し住居委員会、時折評議会の会議に於て、意見を述べ、提議を提出せしむ。又五長は居住者と密接の立場に在り。評議会も五長も、協同せしむれば、時間の浪費はあり。

比呂氏。双方の聯絡事りて、始めて完全になる方法が進むべきなり。

佐田氏。先づ之を解散して之を通報而して評議会が之に代りて依頼す。

比呂氏。新しく委員を指名せしむ、若し事務官も評議会に依頼するべきなり。

佐田氏。本会より之を文書にて説明する可し。

金谷氏。評議会、今更には更に関係者~~を~~を指名するも可らず。或は之を既得の知識を利用するべし。若し旧委員の若干名を指名すれば、余り多し損失に受へざる。或る人は関心を有せしむ、或る人に大義を説くべし。

原氏。本会員中の何人も推薦すべきなり。

Sheet 8.

佐田氏。原氏、貴君、是れ會々一人に、又其
委員なる故、鄭議を提出せらるる。

中井氏。主退費が移住先にてその物を受取る
に際し、實の援助を此之に依りてなす件あり。
多人數が主退区内に其物を残して、其後
の必要の必要を以て、其物に依りて、
全部の發送を乞はねばならぬ。併し大部分
は、狭室に僅かきもの、實之を通く場を
提供せしむ、多大の便利なり。

ビー氏。移住者便なる事柄、是れ本會
議に上す。

原氏。現移住計画委員會、十月十日に七年七月
十三日以前解散、新委員の指名は評議會に
依りて之を鄭議を提出す。

中井氏。全鄭議に賛す。

金谷氏。賛成の方、總て賛成と仰せよ。

全員賛成。

金谷氏。鄭議、兩場一致に通す。又其
以て本會解散とビー氏に通知す。

ビー氏。此等旧移住者より、實際如何な
る價値ありと思はるや。

佐田氏。それ、旧移住者生活状態を示す
の算也。

ビー氏。吾人、家族全体に若干の未婚女子

Sheet 9.

の報告をなす。報告は金谷氏、金谷氏、
金谷氏。今日の報告は、何れも、何れも、
金谷氏、金谷氏、金谷氏、金谷氏、
金谷氏、金谷氏、金谷氏、金谷氏、

「四十」の報告も、同様に日本語で發
行される。

金谷氏。報告は報告の材料を、
行は、大歓迎である。

会議は、午後三時に本分閉じらる。

ミニドカ戦時轉住所居住民諸君、
 此自治憲章は、我々各区代表者並に組織委員等が、協力戮力、徹底的研究と
 討議を遂げて作成したものであります。本憲章の主要目的は、我等ミニドカ
 轉住所居住民の協和と一致とを確保し、且つ一般福利の増進を圖るために、
 居住民評議會を確立するにあるのであります。我々は本憲章を承認する事に
 依つて、真正なる、我等の代議機關を持ち得る事となるのであります。此信
 念と確信とを以て我々は今茲に、本憲章承認の可否を、諸君の投票に問はん
 とするものであります。
 憲章承認賛否投票は、来る十二月二十八日を期して施行せらるゝことに決定
 されて居ります。當日は諸君が進んで投票權を行使し、賛否を表明せられん
 事を要する次第であります。

一九四三年十一月十七日

各區代表者
 組織委員

區	號	姓	名	區	號	姓	名	區	號	姓	名
第一區		舟久保政明	第一五區			磯村勝美	第三二區			中山克己	
第二區		濱本義美	第一六區			木村久八	第三四區			丹原忠	
第三區		生駒貞彦	第一七區			太田正成	第三五區			寺川湛濟	
第四區		近田伊八	第一九區			金谷敏次	第三六區			藤井義人	
第五區		日野頼之	第二一區			菅原脩治	第三七區			秋山律治	
第六區		岐部誠	第二二區			原龜之進	第三八區			佐野福男	
第七區		裏川義夫	第二四區			大澤茂	第三九區			青木龍男	
第八區		細川節吾	第二六區			窪田藤太郎	第四〇區			徳田フヨド	
第一〇區		勝山ヘリ	第二八區			廣兼壽一	第四一區			早津ジヨン	
第一二區		藤富榮治	第二九區			倉岡慶吉	第四二區			高橋武夫	
第一三區		山田健	第三〇區			山田王一	第四四區			土居興三次郎	
第一四區		枡本幾太郎	第三一區			澄田次郎					

組織委員

翻譯委員

秋山ロ一
 湯川淳二
 藤井義人
 金谷敏次
 金谷敏次
 倉岡慶吉

ミニドカ戰時轉住所自治憲章

序文

亞米利加合衆國ノ憲法ヲ支持擁護シ國家ノ諸政策ニ效果的ニ貢獻シ民主主義的諸元則ヲ保持シ一般福利ノ増進ヲ圖リ平和靜謐ヲ確保スルト共ニ所内ノ安寧秩序ヲ維持シ凡ユル事件及ヒ事務ヲ有效適切ニ處理シ且我々ノ所屬及ヒ活動ヲ有意義ナルモノタラシメンカダメ統一的社会ヲ建設スル目的ヲ以テ我々ミニドカ戰時轉住所居住民ハ所長ノ告示ニ基キ茲ニ自治憲章ヲ制定確立ス

第一章 組織

第一條 居住民評議會ハミニドカ戰時轉住所居住民ニ依テ選舉セラレタル評議員ヲ以テ組織ス

第二章 權限及ヒ職務

第一條 居住民評議會ハ其權限ヲ以テ左ノ諸事項ヲ行フ

- 一 評議會ノ秩序及ヒ規律ニ關スル規則ヲ定ム
- 二 所長ニ提出スヘキ決議又ハ建議ヲ採擇シ且其決議又ハ建議ニ關シテ所長ト交渉ヲ行フ
- 三 評議會ノ權能及ヒ職責遂行上必要ナル各種委員會ヲ設定ス
- 四 各種委員會ノ職務及ヒ手續ニ關スル諸規則ヲ制定公布ス
- 五 選舉有資格者中ヨリ任命セラレタル委員ヲ以テ調停委員會ヲ組織ス調停委員會ハ評議會若シクハ所長又ハ右兩者ノ承認ヲ得テ委任セラレタル居住民間ノ爭議ヲ調停解決ス

第三章

第一條 司法委員會ハ評議會ニ依テ任命セラレ且ツ所長ニ依テ認可セラレタル五名ノ委員ヲ以テ組織ス

第四章

第一條 司法委員會ハ其助言又ハ忠告的資格ヲ以テ左ノ諸事項ヲ行フ

- 一 司法委員會ノ秩序ト手續ニ關スル規則ヲ定ム
- 二 安寧秩序ヲ維持スルニ必要適切ナル方策ニ關シテ評議會ニ建議ヲ行フ
- 三 所長ニ依テ委任セラレタル特殊ノ安寧秩序ニ關スル事件ノ處分ニ關シテ所長ニ勸告又ハ建議ヲ行フ

自治組織ニ關スル規程

第一章 居住民評議會

第一條 資格及ヒ任期

居住民評議會ハ所内一般居住民中ヨリ選舉セラレタル評議員七名ヲ以テ組織ス

評議員ハ其任期ヲ六箇月トシ本規程ノ定ムル處ニ從テ後任者ガ選舉セラレ就任スルマテ在任ス

評議員ハ正當ニ登録セラレタル選舉有資格者ニシテ年齡二十一歳若シクハ二十一歳以上ノ者タルヘシ

第二條 會議及ヒ記錄

評議會ハ少クトモ毎月一回常會ヲ開クヘシ

評議會ハ所長ト協議ノ上常會ノ日時及ヒ場所ヲ定ム更ニ必要又ハ適當ト認ムル場合ニハ臨時會ヲ開クコトヲ得

評議會ハ總テノ會議及ヒ其行爲ニ關スル精確ナル記錄ヲ取ラシメ其記錄

第三條

ヲ一般所内居住民ノ縦覧ニ供スヘシ
役 員

評議會ハ評議員中ヨリ議長ヲ選舉ス

議長ハ評議會ノ総テノ會議ヲ主宰シ又総テノ儀式儀禮ニハ評議會長ノ資格ヲ以テ出席ス

議長ハ評議員トシテノ総テノ權限及ヒ職責ヲ保有ス但本規程ニ列挙セラレサル特殊ノ管理又ハ行政上ノ權能又ハ權力ヲ有セス

評議會ハ又評議員中ヨリ副議長一名ヲ選舉ス

副議長ハ議長ニ故障アル場合ニ其代理ヲ勤ム

所長ハ評議會ノ推薦ニ基キ公務書記一名及ヒ補佐書記一名ヲ任命ス

公務書記及補佐書記ハ孰レモ選舉有資格者タルヘシ

書記ノ權限及ヒ職務ハ左ノ如シ

一 評議會ノ総テノ會議ニ關シテ通告ヲ發ス

二 評議會ノ議事ヲ記録ス

三 所長ノ發シタル布告及ヒ規則ヲ公布ス

四 総テノ規則決議及ヒ建議ヲ特定ノ帳簿ニ精確ニ記録シ署名ヲ以テ之ヲ確證ス

第四條

五 本規程又ハ評議會ニ依テ要求セラル、諸他ノ職務ヲ行フ
欽 員

評議員カ恆久的轉任ノ意志ヲ以テ轉任所ヲ去リタル場合又ハ三箇月間連續シテ常會ニ缺席シタル場合ニハ評議會ハ缺員ヲ生シタルモノト見做シ直ニ其旨宣言シ宣言後二週間以内ニ其缺員ヲ補充スヘシ

第二章 評議會 調整委員會

第一條

評議會 調整委員會ノ設定

評議會調整委員會ハ各区ヨリ一名宛選舉セラレタル区委員（ブロック・コミッショナー）ヲ以テ組織ス

区委員ハ各区ノ選舉有資格者ニ依テ投セラレタル投票ノ最多數ヲ得タルモノタルヘシ

調整委員會委員ハ正當ニ登録セラレタル選舉有資格者ニシテ年齢二十一歳若クハ二十一歳以上ノ者タルヘシ委員ハ其任期ヲ六箇月トシ後任者カ選舉セラレ就任スルマテ在任ス

第二條

調整委員會ノ職務

調整委員會委員ノ職務ハ各区住民ノ一般福利及ヒ要求ニ關スルモノトス委員ハ評議會ノ行爲及行動ニ關シテ区住民ニ報告ヲ行フヘシ

調整委員會ハ評議會ヲ輔佐シ其支配ヲ受ク評議會ハ委員會ノ行爲及運營ニ必要ナル諸規則ヲ制定公布ス

會議

第三條

調整委員會ハ少クトモ毎月一回評議會ノ指定セル日時及ヒ場所ニ於テ公開會議ヲ開クヘシ

第四條

役員

第五條

缺員

評議會議長ハ調整委員會ノ議長ヲ勤メ該委員會ノ凡テノ會議ヲ司會ス又公務書記ハ調整委員會ノ書記ヲ勤メ該委員會ノ議事ヲ精確ニ記録ス
議長カ調整委員會ニ缺員ヲ生シタル旨宣言シタル時ハ評議會ハ其宣言ノアリタル日ヨリ一週間以内ニ缺員ヲ生シタル区ニ於テ臨時選舉ヲ施行シ

後任者ヲ選舉シテ缺員ヲ補充スヘシ

第三章 司法委員會ノ設定

第一條 委員

司法委員會ハ評議會ニ依テ任命セラレ且所長ニ依テ認可セラレタル委員五名ヲ以テ組織ス

評議員ハ司法委員會委員ヲ兼任スルコトヲ得ス

司法委員會ハ少クトモ委員三名出席スルニ非レハ會議ヲ開クコトヲ得ス
委員會ハ委員中ヨリ議長ヲ選舉ス又必要ト認ムル場合ニハ其他ノ役員ヲ選舉スルコトヲ得

第二條 任期

司法委員會委員ハ其任期ヲ六箇月トシ後任者ヲ任命セラレ就任スルマテ在任ス

第三條 被告人ノ權利

所長ニ依テ司法委員會ニ委任セラレタル安寧秩序ニ關スル事件ニ於テハ被告人ハ委員會ノ審理ヲ要求シ證人ヲ提供シ自己ノ選擇セル辯護人ヲ代理人トスル權利ヲ有ス

第四條 書記

公務書記ハ司法委員會ノ書記ヲ勤メ委員會ノ総テノ記録ニ關スル責任ヲ負フ

第五條 職務

司法委員會ハ所長ニ依テ委任セラレタル安寧秩序ニ關スル総テノ事件ヲ審理シ所長ニ對シ其等事件ノ處理ニ關シテ建議ヲ行フ

司法委員會ハ又評議會ニ對シテミニドカ轉住所ノ安寧秩序ヲ維持スルニ必要適切ナル方策ニ關シテ適當ト思惟スル建議ヲ行フ

第四章 推薦及ヒ選舉

第一條 選舉人ノ資格

ミニドカ轉住所居住民中年齡十八歳又ハ十八歳以上ニシテ適正ニ登録セラレタルモノハ本規程ニ基キテ施行セラル、總テノ選舉ニ投票ノ資格ヲ有ス

第二條 役員ノ資格

リーグ・クリアランスヲ取得セサル者ハ選舉又ハ任命ニ依ル如何ナル地位ニモ就クコトヲ得ス

評議員ハ二十一歳若クハ二十一歳以上ノ者ヲラサルヘカラス但二十一歳以下ノ者ト雖本規定ニ基キ又ハ所長ニ依テ設定セラレタル各種委員會及他ノ任命ニ依ル地位又ハ職務ニ就クコトヲ得

第三條 選舉ノ秘密

本規程ニ基キテ施行セラル、總テノ選舉ハ無記名投票ニ依ル

第四條 選舉人ノ登録

總テノ所内居住選舉有資格者ハ登録セラルヘキモノトス
登録ハ一年ヲ通シテ行ヒ得ルモノトス但選舉施行中ノ特定期間ハ之ヲ停止ス

總テノ登録ハ本人自身署名シテ行ハサルヘカラス

男女ノ別ナク十八歳又ハ十八歳以上ノ者カ登録ヲ申請シタル時ハ公務書記ハ申請者ノ當然ノ權利トシテ之ヲ登録セシム

登録ノ効力ニ關シテ異議アル時ハ正式文書ヲ以テ公務書記ニ申出ツヘシ

第五條

其場合裁決ノ任ニ當ルモノハ評議會トス
推薦會 議

各区ハ夫々二名ノ代表者ヲ推薦會議ニ出席セシムヘシ
代表者ハ区内選舉有資格者中ヨリ選舉セラルヘキモノトス
代表者ニ對シテ被推薦者ニ關スル特殊指示ヲ與フルヤ否ヤハ各区居住民
ノ任意トス

推薦會議ハ評議會ノ要求ニ應ジテ開カレ少クモ十名多クモ二十一名ヲ
越エサル評議員候補者ヲ推薦ス

推薦ハ口頭ヲ以テシ一名ノ賛成者ヲ要ス

各代表者ハ一名以上ノ候補者ヲ推薦スルコトヲ得ス

公務書記ハ被推薦者ニ就キ立候補ノ諾否ヲ確ムヘシ

若シ多數ノ人々適當ナル人物ヲ推薦ニ洩レタリト思惟スル場合ニハ所

内全選舉有資格者ノ二分ノ請願ニ依テ之ヲ推薦スルコトヲ得

被推薦者ノ被選舉資格ニ關シテ異議ヲ申立ツルコトヲ得而シテ異議ノ申

立アリタル時ハ評議會ハ之ヲ裁決ス

第六條

選舉

通常選舉ハ年二回即チ二月ノ第一月曜日及八月ノ第一月曜日ニ之ヲ施行ス
選舉人ハ登録ヲ行ヒタル場所ニ於テ投票スヘキモノトス不在又ハ代理投

票ヲ禁ス

公務書記ハ所内選舉有資格者ニ依テ投セラレタル投票ノ過半数ヲ得タル
候補者ヲ當選者ト宣言ス

第一回通常選舉ニ於テ選舉セラレタル評議員カ定員數ニ達セサル時ハ公
務書記ハ其旨評議會ニ通告ス其場合評議會ハ出來得ル限り速ニ臨時會ヲ
開キ決選投票期日ヲ決定スヘシ

決選投票ニ於テハ公務書記ハ第一回選舉ニ於テ當選者トナラサリシ者ノ
中ヨリ得票ノ順位ニ依リ評議員不足數ノ二倍ノ候補者ヲ舉ゲ決選投票ノ
候補者ト宣言ス

決選投票ハ一回ニ限ル而シテ決選投票ニ於テハ最多數ノ投票ヲ得タル者
ヲ以テ當選者トス

第五章

發案及ヒ解任

第一條

發案權

凡テノ選舉人ハ發案權ヲ行使シテ評議會ニ建議ヲ行フコトヲ得

發案請願ニハ所内全選舉有資格者五分ノ署名ヲ要ス

第二條

請願形式

請願ヲ提起スルモノハ自己カ請願ノ提起者タルコト及ヒ請願書ノ署名カ
真正ナルモノタルコトヲ證明セサルヘカラス

請願書ニハ請願委員トシテノ責任者少クモ五名ノ署名ヲ要ス

請願書ハ公務書記ニ提出セラルヘキモノトス公務書記ハ其請願書カ必要
條件ヲ具備スルヤ否ヤニツキ證明ヲ行フ

若シ公務書記カ請願書ニ不備ノ點アリト宣言シタル場合ニハ請願者ハ十
日間ノ猶豫ヲ與ヘラレ其期間内ニ請願書ノ不備ノ點ヲ補正シ且必要トセ
ラルハ全選舉有資格者五分ノ署名ヲ得テ之ヲ差出スヘシ若シ然ラサル時
ハ其請願ハ棄塞セラルヘキモノトス

第三條

請願書日附

最初ノ署名カ行ハレタル日ヲ以テ請願書ノ日附トス而シテ其日ヨリ起算

第四條

シテ六十日間以内ニ必要數ノ署名ヲ得サル時ハ請願書ハ無効トナルモノトス
解任
所内全選舉有資格者ノ一割ノ署名セル請願書ヲ以テ評議員又ハ區委員ノ
解任ヲ提案スルコトヲ得而シテ解任ノ可否ハ全選舉人ノ過半數投票ニ依
テ決ス

第六章 條正

第一條

評議會及ヒ評議會調整委員會ハ共同決議ニヨリ所長ノ許可ヲ經テ本組織
規程ヲ條正スルコトヲ得